2001 年度 AJSKA 競技委員会 活動中間報告書

第1版:2001年06月20日第2版:2001年06月25日

作成者: AJSKA 競技委員会

改訂履歴

- (1) 第1版:2001/06/20
 - ・初版作成
- (2)第2版:2001/06/25
 - ・P4 「WSKC の 2 年連続の延期」 「WSKC の 2 年連続の中止」に修正
 - ・P4 「山田 修史」 「山田修史」に修正
 - ・P8 「東北支部」 「AJSKA 東北支部」に修正
 - ・P8 ホームページ告知協力者に「Team Speed (棚原さん)」を追加
 - ・P9 「カイト競技に関する感心の薄さ」 「カイト競技に関する関心の薄さ」
 - ・P10-P18 アンケート数の棒グラフの修正
 - ・P20 No10 回答内容「ヘッドジャッジ j 」 「ヘッドジャッジ」に修正
 - ・P21 No25 回答内容「低額を支払う」 「定額を支払う」に修正
 - ・P22 No31 回答内容「現在競技中であり」 「現在協議中であり」に修正
 - ・P24 公認大会と非公認大会の文「大会数が適正化どうか」 「大会数が適正かどうか」に修正

<u>目次</u>

1	. 競技才	委員会発足の経緯・・・・・・・・・・・・・	•	• •	•	0 4
	2 - 2	方針・・・・・・・・・・・・・・・・・ 活動方針 検討課題 活動方法	•	•	•	0 5
		進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・ 活動進捗状況 見解	•		•	0 6
	4 - 1 4 - 2 4 - 3 4 - 4	内容報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	0 7
	5 - 1 5 - 2	の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 競技ポイント制度の見直しについて 各制度の最終検討 ジャッジングに関する課題	•		•	2 6
	6 - 1 6 - 2 6 - 3	会への依頼事項・・・・・・・・・・・・・ 活動方針外の検討内容について アンケートの協力依頼について 会員の皆様の要望対応について AJSKA 役員会の役員人事の早急対応について	•		•	2 7

3

1.競技委員会発足の経緯

ここ数年、AJSKA会員の減少、競技人口の低下、WSKCの2年連続の中止などスポーツカイト界は、明るい話題が少ない状況にある。

2000 年度よりスポーツカイトにおける国際大会として、それ以前のチームのみによるワールドカップに続き、個人競技~チーム競技までのあらゆるカテゴリーでの国際大会としてWSKC(World Sports Kite Competition)の開催が予定された。WSKC 開催予定なども考慮して、従来までの国内大会でのポイント制度並びに国際大会代表の選考基準に対して、2000 年度に大幅な見直しが実施された。2000 年度を終え、旧制度から新制度へ変わった事による問題点なども幾つか上がっている。

これらの現状を踏まえ、AJSKA 役員会において、より魅力的な競技制度を検討することで、スポーツカイトへの普及に寄与する検討組織の発足が提案された。そして東京支部支部長の前信之氏の呼びかけで数名の現役フライヤーに対して検討組織への参加の呼びかけが行われた。

その結果、2001/03/21に以下のメンバーで競技委員会が発足された。

【東京支部】前信之(担当理事)、朝倉弘道、鈴木朗

【関西支部】川嶋清仁

【中部支部】宮本明仁

【石川支部】山田修史

2.活動方針

2-1 活動方針

(1)活動経緯

2000 年度より従来の「上位者へのポイント付与の制度」から「参加者数に比例したポイント付与の制度」への見直しを 実施したが、これによる競技への公平性、レベルアップ、スポーツカイトの普及へ寄与したかの評価が実施されていない。 そこで、「AJSKA 競技委員会」を発足し、現行制度の問題点の抽出からスポーツカイト競技に関する制度の「あるべき 姿」を検討し、2002 年度の AJSKA の競技制度を策定し、日本におけるスポーツカイト競技会の普及に貢献する。

(2)活動における前提条件

以下の前提条件の基、本競技委員会の活動を実施する。

下記「2.検討課題」に対する活動の実施(1)

本競技委員会による制度見直しの全権委任(2)

- 1.下記検討課題以外の活動は、別途委員会の発足あるいは実施メンバーの見直し、活動期間の見直しを行う
- 2.新制度の最終承認は、AJSKA 役員会にて実施

2-2 検討課題

- (1)現状のスポーツカイト競技制度の問題点の抽出
- (2)AJSKA 競技ポイント制度の見直し
- (3)年間ランキング制度の見直し
- (4)クラス分け制度の見直し
- (5)公認大会、JapanCup 基準の見直し
- (6)国際大会優先権の見直し
- (7)新制度の評価(旧制度との比較、効果、その他の影響度)

2-3 活動方法

(1)活動スケジュール

以下のスケジュールの基、活動を行う。

2001/03 : 競技委員会活動方針の策定

2001/04 : 現行制度の問題点の抽出、会員意識調査の実施、意見集約

2001/05 : AJSKA 競技ポイント制度の見直し

2001/06 : AJSKA 競技ポイント制度の見直し、活動中間報告書の作成、提出(3)

2001/07 :年間ランキング制度の見直し

2001/08 : クラス分け制度の見直し

2001/09 : 国際大会優先権の見直し、公認大会、JapanCup 基準の見直し

2001/10 : 国際大会優先権の見直し、新制度を適用時した場合の効果シミュレーション

2001/11 :活動報告書の作成、提出、承認

2001/12 : AJSKA 2002 年度新制度の広報(4)(5)(6)

3.2001 年 5 月に AJSKA 役員会に対して、中間報告を実施する。あくまで中間報告なので、承認は実施しない。

4.最終的な会員への広報は AJSKA 事務局より実施する。

5.新制度に関する広報活動の一環として AJSKA HP にて新制度の公開も行う。

6.2002 年からの新制度の取組実施後、再度新制度の効果を検証する

(2)活動方法

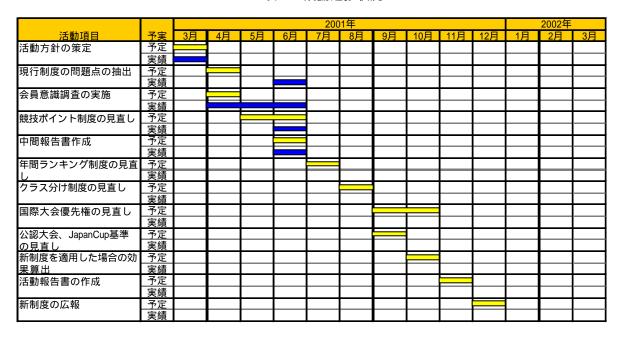
選出メンバーが、全国各地に跨る為、e-mail または電話による意見交換を行い、意見集約を行う。 AJSKA 会員に活動内容を理解して貰う為に、毎月議事を HP にて報告する。

以上

3.活動進捗状況

3 - 1 活動進捗状況

表 1 . 活動進捗状況



3 - 2 見解

- (1)活動方針の策定は、予定通り3月で検討および整理を完了した。
- (2)現行制度の問題点の抽出については会員意識調査も含めて整理する予定であった為、進捗が遅れた。
- (3)会員意識調査の実施は実施準備に遅れ、実施開始が5月からになってしまった。また開始から2ヶ月が経過するが、アンケート数が少なく、現在も継続して協力依頼を行っている。
- (4)競技ポイント制度の見直しについては、6月中旬より検討を開始し、現在も継続検討中である。

4.活動内容報告

2001年3月~6月までの活動内容をまとめる。

4-1 メーリングリストの作成(3月~4月)

競技委員会メンバーが全国各地に離れている為、意見交換及び制度の検討は主に電子メールを活用しての意見 交換を行う方針で決定した。それに伴い競技委員会のメーリングリスト(ML)の作成を行い、メーリングリスト での活動を行っている。6 月中旬時点で 376 通のメール交換がなされた。

またメーリングリストとは別に AJSKA 会員の皆様からの意見も受け入れられる環境として、転送メールアドレス(comp@ajska.gr.jp)の作成をホームページ委員会に依頼し、作成して頂いた。

4-2 ホームページ公開(4月)

競技委員会で決定した事を迅速に会員へ伝える為に、競技委員会のホームページを作成する事を決定した。ホームページの作成、運営に関しては競技委員会メンバーで行う方針とし、サーバとしてAJSKAホームページのサーバを利用させて頂く方向でホームページ委員会と調整し、詳細な運用ルールを取り決めた。

4月17日に競技委員会ホームページを公開した。

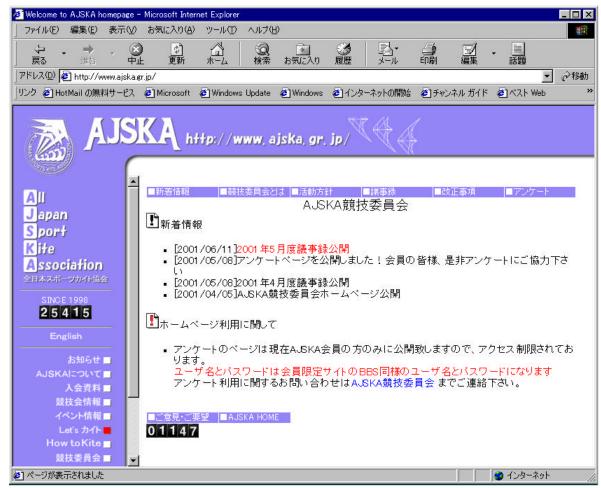


図1.AJSKA 競技委員会ホームページ

4-3 アンケート実施(4月~6月)

競技委員会のこれからの活動方針の指針として、AJSKA会員の意見を知るという意味で競技委員会のホームページ上でアンケートを実施することを決定した。またアンケート項目及びアンケートページについての詳細は競技委員会内で検討し、5月8日に公開した。

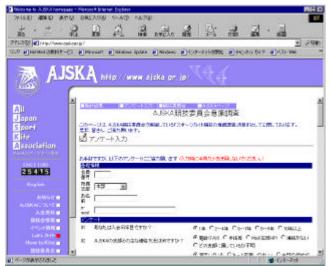


図2.アンケート入力ページ

図3.アンケート集計ページ

アンケートの告知については、「AJSKA ホームページ自体をどの位の会員の皆様が閲覧しているか?」という観点も調査したい意向で、最初の2週間はAJSKAホームページ内のみのアナウンスで実施した。その結果、2週間後の経過として30名程のアンケート協力しか望めなかった。

そこで 5 月 28 日までにカイト関係の著名なホームページの皆様にアンケート告知の掲載依頼を実施し、以下の皆様のホームページからもアンケート協力の告知を行った。協力して頂いた皆様は以下の通り。

- · AJSKA 北海道支部
- · AJSKA 東北支部
- ・PETER'S Refuge (川嶋さん)
- ・TEAM HEIDI'S WORLD (川嶋さん)
- ・SPORTS KITE FLYER`S CLUB (庄司さん)
- ・SHAMU`S HOMEPAGE (窪田さん)
- ・BLACK SHARK'S WORLD (宮本さん)
- ・ヤックルくんの HOMEPAGE (井上さん)
- ・SHU`S HOMEPAGE (山田さん)
- ・NIIGATA SUNSETBEACH SPORT KITE FLYERS (佐藤さん)
- ・AOKI`S KITEPAGE (青木さん)
- ・中野さん
- ・Jazz Room UNION (木村さん)
- ・翡翠通信(中山さん)
- ・+AXEL SPORTS KITE WEBSITE(松田さん)
- ・Team Speed (棚原さん)

4 - 4 アンケート結果中間報告(6月)

(1)回答率

表2.アンケート回答率

<u>アンケー I開始</u> 5/1	7~よりの推	移			回答率	
	~ 5/21	~ 6/6	~ 6/20	合計	各支部会員数	回答率
北海道支部	1	3	0	4	68	5.9%
東関東支部	1	0	0	1	14	7.1%
関東支部	0	2	0	2	52	3.8%
中部支部	1	3	0	4	53	7.5%
神奈川支部	0	1	0	1	157	0.6%
九州支部	0	0	0	0	50	0%
関西支部	3	9	1	13	109	11.9%
石川支部	2	1	0	3	26	11.5%
静岡支部	0	0	0	0	15	0%
中国支部	0	1	0	1	43	2.3%
新潟支部	0	1	0	1	18	5.6%
沖縄支部	0	0	0	0	10	0%
富山支部	0	0	0	0	22	0%
東北支部	0	1	0	1	34	2.9%
東京支部	5	2	1	8	25	32.0%
所属不明(なし)	1	0	0	1	-	-
合駅回答数	14	24	2	40	696	5.7%

現状、会員数 696 名のうち、回答者数は 40 名。回答率は 5.7%と、非常に少ない結果となっております。 本アンケートは会員のインターネット環境の所持率の調査も兼ねておりますので、現在のデータだけ見れば AJSKA 会員のネット環境の充実度が判る他、ネットを媒体にした連絡や情報収集には意味が無い可能性もある と言うことが判ります。

尚、先日行われましたJAPAN-CUP において実施しました、アンケート用紙による回答の結果は今回の報告に含めておりません。

支部別に見ると、関西支部の回答数が1番多く、続いて東京支部となっております。

回答率では、東京支部が1番高く、関西支部、石川支部と続いています。

九州、静岡、沖縄、富山の各支部においては回答者0名、その他回答者がわずか1名という支部も数多く存在することから、AJSKA、もしくはカイト競技に関する関心の薄さが判ります。

(2)アンケート結果

各アンケート項目の回答結果は以下の通りです。(6月21日時点)

$oldsymbol{4}_{01}$ あなたは入会何年目ですか?

結果	回答数	
1年	2	
2~4年	10	
5~7年	11	
8~9年 10年以上	15	
10 年以上	3	

102 AJSKA の支部との主な連絡方法は何ですか?

結果	回答数	
電話(FAX)	7	
手紙等	8	
Mail(支部 HP)	20	
連絡がない	4	
どの支部に属しているか不 明	2	

103 支部の機能について(競技会開催のお知らせ等)

結果	回答数	
満足している	17	
もっと充実して欲しい	14	
支部の機能が何か知らない	6	
不満	3	
興味がない	1	

4 04 AJSKA HP をどの位閲覧しますか?

結果	回答数	
毎日	7	
週に3~4回	11	
月に数回	16	
殆ど見ない	7	
興味がない(見た事ない)	0	

405 AJSKA-BBS をどの位閲覧(活用)しますか?

結果	回答数				
毎日	5				
週に3~4回	10				
月に数回	18				
殆ど見ない	8				
興味がない(見た事ない)	0				

┫06 AJSKA-HP の内容について

結果	回答数	
満足している	10	
もっと充実して欲しい	17	
情報不足	12	
表示が遅い	2	
興味がない(見た事がない)	0	

┫ 07 AJSKA-BBS の内容について

結果	回答数	
満足している	8	
もっと充実して欲しい	16	
議論にならない(回答が遅い)	7	
投稿する気が起きない	10	
興味がない(見た事がない)	0	

108 AJSKA 通信について

結果	回答数	
満足している	0	
もっと充実して欲しい	18	
情報不足	19	
不要だと思う	4	
興味がない(見た事がない)	0	

409 会員のメリットとして何を重視しますか?

結果	回答数	
公認大会の参加権利	11	
競技の結果集計(ポイント)	10	
各種情報の提供	14	
障害保険	3	
その他	3	

10 過去にこの様なアンケートに参加したことが

結果	回答数	
ある	2	
ない	34	
回答したが結果が不明	2	
存在を知らなかった	2	
興味がない	1	

111 これまでに AJSKA の公認大会に出た事がある

結果	回答数	
30 試合以上	17	
30-10 試合	13	
10 試合以下	11	
いいえ	0	
公認大会の存在を知らなかった	0	

12 AJSKA の公認 / 非公認大会制度(最低参加人数基準)にどう思いますか?

結果	回答数	
満足	6	
普通	17	
不満	5	
その制度を知らない	12	
興味がない	1	

13 AJSKA の非公認大会には AJSKA 年間ポイントが付かない事にどう思いますか?

結果	回答数	
満足	16	
普通	13	
不満	7	
その制度を知らない	1	
興味がない	4	

14 公認大会以外のカイト競技会に参加した事がある

結果	回答数	
30 試合以上	1	
30-10 試合	8	
10 試合以下	22	
いいえ	10	
大会の存在を知らなかった	0	

15 年間の大会数についてどのように思いますか?

結果	回答数	
満足	2	
普通	16	
不満(少ない)	19	
不満(多すぎる)	2	
興味がない	2	

16 大会を見学したいと思った事がありますか?

結果	回答数	
是非見学したい	24	
時間があれば見学したい	13	
どちらでもない	4	
興味ない	0	
大会の存在を知らなかった	0	

17 ルールブックを読んだことがありますか?

結果	回答数	
殆ど読んだ。少し読んだ	26	
持っているが読んでない	1	
知っているが持っていない	12	
知らない	2	
興味がない	0	

18 現行のノービス、インタークラスのポイント制度についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	5	
普通	20	
不満	10	
複雑で理解出来ない	5	
興味がない	1	

19 現行の EX 以上のポイント制度(大会人数ポイント)についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	2	
普通	16	
不満	10	
複雑で理解出来ない	12	
興味がない	1	

20 現行のノービス、インターとEX以上でポイント制度が異なる事についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	5	
普通	15	
不満	8	
複雑で理解出来ない	11	
興味がない	2	

21 現行のブロック大会(通常の大会の 1.2 倍)のポイント制度が異なる事についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	6	
普通	16	
不満	7	
複雑で理解出来ない	9	
興味がない	3	

22 ヒート勝ち抜きのファイナル昇格基準(上位3位)についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	8	
普通	15	
不満	10	
複雑で理解出来ない	7	
興味がない	1	

23 現行のクラス分類(MAS、EX、INT、NOV)についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	28	
少なすぎる	2	
MAS とEX を統一	8	
MAS~INT まで統一	1	
全て統一	2	

4 現行のNOV INTへの昇格制度についてどう思いますか?

結果	回答数	
1年間は昇格不可	5	
基準に達し次第強制昇格	22	
本人の意思で自由選択	12	
何でも良い	1	
興味がない	1	

25 現行の年間ランキング(年間積算ポイント数)の制度についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	12	
普通	11	
不満	6	
複雑で理解出来ない	10	
興味がない	2	

26 現行の年間ランキングはシーズン終了まで分からない状況をどう思いますか?

結果	回答数	
満足	5	
普通	3	
不満	27	
複雑で理解出来ない	3	
興味がない	3	

27 現行のノービス/インター以上で昇格基準が異なる事についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	4	
普通	17	
不満	9	
複雑で理解出来ない	9	
興味がない	2	

28 最近の競技会でのジャッジ結果についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	5	
普通	13	
不満	1	
ジャッジの教育不足	21	
興味がない	1	

29 最近の競技会でのジャッジングの態度(マナー)についてどう思いますか?

結果	回答数	
満足	11	
普通	15	
不満	3	
ジャッジの教育不足	11	
興味がない	1	

30 エントリーフィーに対してどう思いますか?

結果	回答数	
高い	17	
妥当	6	
安い	0	
大会毎の取決めに従います	17	
興味がない	1	

◀31 AJSKA 競技ポイント制度の見直し

結果	回答数	
是非見直して欲しい	29	
現状で満足している	9	
廃止して欲しい	0	
その制度を知らない	0	
興味がない	3	

32 年間ランキング制度の見直し

結果	回答数	
是非見直して欲しい	24	
現状で満足している	11	
廃止して欲しい	1	
その制度を知らない	2	
興味がない	3	

133 クラス分け制度の見直し

結果	回答数	
是非見直して欲しい	24	
現状で満足している	14	
廃止して欲しい	1	
その制度を知らない	0	
興味がない	2	

34 公認大会基準(JapanCup基準)の見直し

結果	回答数	
是非見直して欲しい	25	
現状で満足している	8	
廃止して欲しい	0	
その制度を知らない	6	
興味がない	2	

435 国際大会優先権の見直し

結果	回答数	
是非見直して欲しい	21	
現状で満足している	10	
廃止して欲しい	0	
その制度を知らない	8	
興味がない	2	

136 カテゴリーの見直し

結果	回答数	
是非見直して欲しい	24	
現状で満足している	15	
廃止して欲しい	0	
その制度を知らない	1	
興味がない	1	

37 ジャッジパネルの取決めに関するルールの制定

結果	回答数	
必要	28	
現状で満足している	6	
不要	0	
その制度を知らない	7	
興味がない	0	

38 ジャッジ講習会の実施

結果	回答数	
必要	35	
現状で満足している	2	
不要	0	
その制度を知らない	4	
興味がない	0	

39 トリックの難度設定(ジャッジングの参考資料)

結果	回答数	
必要	24	
現状で満足している	2	
不要	10	
その制度を知らない	5	
興味がない	0	

40 大会結果におけるジャッジパネルの氏名公開

結果	回答数	
必要	20	
現状で満足している	10	
不要	7	
その制度を知らない	3	
興味がない	1	

41 ノービス競技は会員でなくても参加可能とする

結果	回答数	
必要	36	
現状で満足している	2	
不要	2	
その制度を知らない	1	
興味がない	0	

42 ノービス競技にバレーの追加

結果	回答数	
必要	19	
現状で満足している	10	
不要	11	
その制度を知らない	0	
興味がない	1	

43 公認大会のランク付け(JapanCupの格式付け)

結果	回答数	
必要	25	
現状で満足している	4	
不要	5	
その制度を知らない	5	
興味がない	2	

444 年間ランキングの Web 上での表彰

結果	回答数	
必要	31	
大会で実施して欲しい	3	
表彰状のみで可	3	
不要	1	
興味がない	3	

45 その他の改正に対する分科会の設置と提案

結果	回答数	
必要	19	
不要	5	
テーマ次第では協力したい	16	
必用だが協力は出来ない	0	
興味がない	1	

(3)ご意見に対する回答

アンケートの中で「ご意見」欄に記入して頂いた皆様のご意見内容と競技委員会としての回答をまとめます。

表3.ご意見に対する回答表

Na	表3.こ意見に	
No.	会員からのコメント	競技委員よりの回答
1	大会の年間スケジュールを AJSKA で調整して頂きたい。	できるだけ多くの大会に参加できるように、大会開催日が重なっ
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	たり、ある期間に集中しないようにすることは、協会側の義務だと
	ように)	考えます。
		競技委員会では、競技会に関するルールを主な業務として活動
		していますが、活動中に挙がった様々な問題点や提案事項は必要による。
		要に応じて AJSKA へ報告し、対応を要請しています。本件につ
		いては、国内の競技人口の増加・競技会への参加人数の増加
		の為に検討が必要と思いますので、AJSKA へ報告させて頂きます。
2	啓蒙的な書籍を作るべきだと思う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9。 書籍に関しては、基本的には競技委員の活動内容とは異なりま
2	台家的な言語で下るべきたと思う。	青霜に関しては、季平的には脱び安負の治動的谷とは共なりよっか。
		9 が、 (1) 競技会に関する適正なルールを示した文書
		(1) 競技結果をより意味のあるものにする各種ツールとしての文
		と
		〒 等に関しては、我々の活動として対応する予定です。
3	12 A.ISKA の公認 / 非公認大会制度(最低参加人数其準)にと	AJSKA によって公認大会と認められなかった大会(公認大会の
	う思いますか?	基準である、必要カテゴリー数やフィールド面積、必要スタップ
		数、その他の安全基準をクリアしないもの)、または AJSKA 側に
	るのですか?	申請せずに行う競技会を非公認大会と定義致します。
		公認大会との大きな違いはAJSKA 非会員でも参加できるほか、
		ポイントが付かない、クラス分け等の制約を受けない(但し、当該
		大会の定めたローカルルールに従う)等があげられます。
4	16 大会を見学したいと思った事がありますか?	会員であっても、競技会に興味がなく、協会に登録していること
	あるか?ないか?と問われれば「ある」です。回答欄の意味が	
	分かりません。	
5	18 現行のノービス、インタークラスのポイント制度についてど	2000 年度のルールは出来るだけインターミディエイトクラスを増
	う思いますか?	やすという目的でそのようになっていました。確かに強制的な昇
	現行の制度では一発でノービスクリアしてしまう可能性があり	格には問題もありますし、我々競技委員としてもノービスクラスの
	ます。他の地方の大会でも通じるのかもう一度試してみたい、	
		対策として、ノービスクラスの昇格基準の見直し、フリースタイル
		(音楽を使わず、規定時間内に自由な構成で演技する)の必要
		性、ノービスバレエなるカテゴリーの追加等々を検討中で
	民だけでのノービスクラスの成立さえ怪しい状況です。	す。
6	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ブロックに関する明確な識別を AJSKA 側より明示して頂くように
	が異なる事についてどう思いますか?2001 年度はどこの大会	
		また、ブロック大会を決定するのは競技委員の業務ではないた
	域)なのか不明。	め、これも合わせて AJSKA の方へ提案致します。
		ペアの登録不備はどのような状態でしょうか?。ペアに対して
	年間ポイントが全くついて無かった事は、不満を感じた。	AJSKA-No.は発行されていましたか?。それとも登録自体が上
		手く出来なかったのでしょうか?。詳しい内容を AJSKA 本部 も
		しくは競技委員会のほうへお寄せ下さい。再発防止のために努力したいと思います。
0	今弗 た 作 み た 川 ト	F
8		2000 年度の会計報告は協会側の不手際でかなり遅延したらしい
	इ .	ですが、これに関しては AJSKA 通信にて毎年実施していると認 識しています。
	免力と面倒な日でいただいでいるいと。 車数日立た中へにぜ	-
9		事務局の運営費用は毎年定額が支給されています。但し、その額面と事務民機能の妥当性については、我々に判りません。とは
		額面と事務局機能の妥当性については、我々に判りません。より
	ン	よいサービスのために事務局の運営に支障をきたす要素は排除

		すべきですので、AJSKA に対しての提案事項に含めたいと思います。
	対するルールの周知徹底が必要。 その大会において、ヘッドジャッジ等がその辺りをもっと気遣う必要があると思う。	最低限のルールを把握しておくことは、どのようなスポーツにおいても競技者の最低限のマナーであると思います。ルールを知っていても知らなくとも、競技会のルールに反する行為にはペナルティが課せられます。ヘッドジャッジとしても競技者は当然ルールを把握して大会に参加していると考えていますし、認識を変えるのは競技者自身であると考えます。 但し、現状、競技者へのルールの開示も不十分であると感じますし、今後の対応として考慮したいと思います。
11	ジャッジ講習会も開催して欲しいとは思いますが、ラインジャッジの教育または人選も検討、お願いします。	ジャッジ講習会の中に当然ラインジャッジの教育も含まれていますのでご安心下さい。現在のカイト競技会は、得点や失格の判断を下す各ジャッジと、ラインアウトを判定するラインジャッジやヒットボス等によって行われています。 必要に応じて、ジャッジのライセンス制度も検討していますが、各地の競技人口を加味して、先ずはチーフジャッジの教育を優先することも考えています。
12		上記の通り、ラインジャッジの教育不足について検討する必要を感じています。またラインジャッジの手順書など、必要に応じて整備したいと考えています。
13	ジャッジ自体の講習会のほかにも,FD,LJ などの講習会が必要。大会にあわせた簡易なルール講習会の開催なども必要がも。	
14		各地の大会の状況を見ると、ジャッジについても同様な不安があるようです。正しい知識を得るために講習会は必須と考えております。 また、リラウンチクルーやフィールドマナーなど、オフィシャル以外のルールについても再認識が必要だと思っています。
15		ジャッジの地域差については、我々も感じております。ルールに対する教育も必要な他、ジャッジのレベルを平均化するためのツールの整備が必要と考えています。
	ローカルルールの弾力的な運用が、時には弾力的に過ぎている。また、大会の開催場所があまりにも辺境の地であるだけでなく、一切の公告もされず(市町村の広報にさえ出していない。無料です。)そのため、一般の方々に全く知られていない。極端な見方をすれば、同好者が内輪だけで密かにやっているような感さえもある。	まず各支部機能を強化し、会員への連絡網の整備が必要だと思います。また各支部の責任として、地域毎の広報活動も行うべきでしょう。
	決しておかなければならないと思います。 この少ない会員数をどうやって改善するのか。 スポンサーを獲得して会員の負担を和らげる。 無駄な出費を抑える。(例:コピーのリース料など)	

20

	位置付けに疑問があるので、このアンケートの回答項目だけでは不足していると思います。 (該当するものが無いので、仕方なく選択している項目が半数を超えている)	競技の位置づけに関しては、それぞれの意見もあると思いますが、我々としては、会員の意識調査と、これからの方針を決めるための第一弾のアンケートとして項目を選びました。また会員のインターネット環境がどの程度であるのかを調査する目的も兼ねており、今回のアンケートで高い回答率が得られれば、第2弾、第3弾のアンケート調査の可能性も考えております(郵送や FAX等で行うアンケートには金額的な無理と集計作業の煩雑さがあるため)。
19		各支部機能の強化、本部機能の強化により、このような問題をクリアしたいと考えています。またルールに対する矛盾点は IRBC 委員とも協力して検討していきたいと思います。尚、本項目はAJSKA に提案し、対応して頂きます。
20	(新規作成中を理由に断られました)為、今現在まで、正確な マヌーバを知りません。	現在、AJSKA-HP上にマヌーバ表を掲載しています。また各大会の参加要綱には出題されるマヌーバを出来るだけ記載するようにしています。同一条件での競技参加に関しては、マヌーバを入手できた人とそうでない人とで、競技に著しくハンデを背負った経験があるのでしょうか?。もしそうであれば参考事例として内容を教えて頂けるとありがたいです。
	に苦労されている。また、クワッドの規定をジャッジできる人間も少なく、カテゴリーが存在しない事も多い。AJSKA としてももっとクワッドの普及に力を入れる必要があるのではと思う。	の差別が見受けられます。カテゴリーを成立させるために急造の参加者を用意するなど、競技者にとって失礼な行為も目立つと認識しております。 まずはデュアルラインとクワッドラインでのルール面の格差を無くすところから始めたいと思います。
22	報の公開は本当にありがたいものなのですが、そうではない	本アンケートにより、会員がどれだけインターネット環境を所持しているか、その指標としたいと考えております。実際にはネット環境の無い者に同等のサービスを行うことは困難ですが、AJSKAとして競技会そのものの適切な実施が会員にとっての共通のサービスとなることを望んでいます。
23	と思うとき、現在のレベルは高すぎて二の足を踏む場合があり	個人競技とそれ以外の競技でのルールの混同が原因だと考えられます。本件については競技委員会にて検討したいと思います。また、このような問題を回避するために「非公認大会」の充実を図ることが大切ではないか、と考えています。
	くは家族割引なんてのも検討して欲しいです。	AJSKA の会費については、我々競技委員会の活動範囲外のため検討することは出来ませんが、AJSKA の方へ提案しておきます。 ただ、我々の間でもこの主の話題は取り上げた事があり、夫婦であっても家族であっても一個人として AJSKA のサービスを受ける以上は定額を支払うべきだと考えています。現状、AJSKA 通信やビデオの配付など、物品の支給がサービスになっていることが問題であると思います。
26		AJSKA サイドからもそういう大会の実施を促すように提案致します。支部によっては定期的に体験会を実施しているところもありますし、そういった情報の開示を積極的に行うようにしたいです。
27	異種混合(2ライン、4ライン)、ドックステック、2機3機揚げな	確かに、このような競技も必要だと感じています。但しこれらのカテゴリーに対して明確な採点基準を設けることが難しく、一つのカテゴリーとして確立することは非常に難しいと思っています。現状は各大会の考えでこういった競技を実施して頂いていますし、そういった情報を開示することで、各大会での余興的なカテゴリーが増える事を推進していきたいと思います。

28	公認大会の中に非公式な「挑戦カテゴリー」があるのも面白い	上記の通り、そういったカテゴリーについても各大会にて実施を
		促したいと思っています。またメガフライトなどの余興について
	クラスみたいに)。例えば「挑戦クラス (ノービスペアクラス) ・ペ	
	ア規定」 二人で揃ってループを描くまだ技術がない人でも複	
	数の人とあげることを楽しめるカテゴリーがあると楽しいし参加	
	者も増えると思うのですが。	
29	大会数け名()と思います。 現状の会員数 の語技者数からする	競技者数に合わせた大会設定よりも、競技者数が増えることを
20		
	ともっと減らしても良いと思う、そのかわりステータスの高い大	
	会を、年1回でも開催する必要があると思う。	ステータスの高い大会を行うために、大会の格付け、ランクの低
		い大会の区別を明確化する必要性は感じています。
30	カイト人口を増やす為の普及活動が将来の競技人口を増やす	競技委員会が、競技の整備を、AJSKA 組織が競技人口を増や
		すための普及を相互に行って、相乗効果を産み出せれば良いと
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	協会にとって重要項目ですし必要なことです)つまり支部単位	
	での体験会、イベント等を積極的に行うことが必要だと思って	
	います。(これは協会や理事が考えることですね・・・)私も、出	
	来る事から普及活動はしていくつもりです。競技面、普及活動	
	を確立し完璧(笑)な協会にしていきましょう!	
6.1		
31		競技委員としても、ポイント制度は判りやすいものにしたいと思っ
	かりやすく、持続的なルールで、かつ大会参加者全員に付くよ	ています。またリアルタイムに Web 上に結果を開示することで、よ
	うにようにしたい。	り判りやすい形にしたいと考えています。
		但し、参加賞的なポイントの付加については現在協議中であり、
		ポイントそのものの意味を考えた上で決定したいと思います。
32		ノービスクラスに対しても、フリースタイルやバレエ競技を行えな
	より自由な競技内容と、エントリーしやすい参加費で楽しんで	いか?、現在検討中です。エントリーフィーに関しては各大会で
	もらいたいです。	の取り決めがありますので、ルール化は困難ですが、最近の大
		会では格安を目玉にしたものもありますし、それぞれの大会にて
		努力してもらいたいです。
		F
33		中・長期的に競技人口の増加に合わせたルール作りなど、単発
	思いますが、委員会の良い提案を期待しています。	的な成果に終わらないように頑張ります。
34	Japan Cup は昔のように出場制限があったほうが良い(ポイン	Japan Cup に対する格付けだけでなく、各大会の格付けを含め
	卜等	て、今後検討したいと思います。
25	• ,	広報活動に関しては AJSKA としても、また各支部においても是
33		
		非検討して頂きたいテーマです。本提案は AJSKA へ報告させて
	な で終わってしまう人はインターネットでもやってないと情報	いただきます。
	はまったく入りません。もっと世間にアピール出来ると良いで	
	すね。各地で開催される大会を	
	一般の方々に知らせる方法があれば、きっとカイト人口も増え	
	る事でしょう。今の時代に合ったエコでクリーンな遊び(スポー	
	ツ)なので注目されるはずですよね。	
36	今年の大会数が去年に比べて極端に少なくなっているように	大会をオーガナイズしているショップ等の消滅により、なかなか
	思います。年間大会数を安定して開催できるようにしてほしい	安定した大会数の確保は難しいのですが、ショップやメーカーで
	ट्रं	なくとも、もっと簡単に大会が主催できるような(一個人の主催で
		も可能な)システムが望まれると思っています。
37		競技フィールドの確保は、おそらく大会をオーガナイズされている
	まる公な場所を選択しない限り、一般に認知されるスポーツに	方々の共通の悩みであろうと思います。
	ならないし、ましてやスポンサーをや。である。スポーツカイト	バレエ競技に関しては、技術点 40%、芸術点 60%の重みを設定
		していますが、芸術性に対する理解はジャッジの能力に直接影
	定的な評価が高いように思う。	響することから、この種の競技においては常に問題となっていま
	たりな計画が向いようにぶり。	
		す。競技委員会ではできるだけ採点が行いやすいようなシステム
		も検討したいと考えております。
	•	

	スタイル的な創造性の大きいものや、トリック性の高いものを、評価しなければ、スポーツカイトは面白い! ということにならない。あまりにも地味な評価がされていると思われる。また、世間ではスポーツカイト、イクオール、チーム演技であるから、もっとチームを育成することを考えて欲しい。 各競技会のエントリーフィーが非常に高いと感じます。参加商	フリースタイル競技をより面白くするために「トリックの難易度」に関する取り決めも必要だと考えております。しかしながら音楽を使うバレエ競技にも同じようにカイトの面白さはあると思いますし、広い視野で検討していきたいと思っています。チームの育成に関しては、我々としては、楽しい競技会を通じて行うしかないと考えています。おそらく現状の大会において、エントリーフィーの使い道は、パーティ会場の確保、音響装置のレンタル、トロフィーの購入、コーションテープやフィールド設営費用であると思います。参加賞品は協賛各社の援助により供給されていますし、それらがパーティのオークションでお金に換わり、大会運営費に加算されていると思います。 エントリーフィーを安くする為に、協賛からのトロフィー支給や、音響装置を支部で購入したり、色々と努力しているところもあります。 一番の問題は参加人数です。参加者が増えれば、それだけエントリーフィーに還元されると思います。その為に競技会をもっと面
40	題ですが中々難しそうですね。ポイント制度もそうですが、部	白くする努力が必要だと考えています。 我々の出来ることと、本アンケートの結果をもとにした会員のコーズとを見定めた上で活動方針を決定したいと思います。また、競技委員会の活動から逸脱するものに関しては、AJSKA へ対応を要請し、必要に応じて競技委員のような分科会を設立してもらう予定です。当然その時は会員の協力が必要になるとは思います。
41		見ていても、シビアで緊張感があり、また面白い大会を行うことで、見学者の中からノービス人口の増加が期待できると考えています。
42	入賞した経験のある方は INT クラスに強制的に行くことにして	ノービスクラスで年間ランキングを取る事を目的に頑張っている人もいますし、ノービスなら勝てるという理由で居座る人もいるかも知れません。またバレエ競技に出ることがなかなか出来ない人が居ることもその理由であると思います。 ノービスクラスの昇格については、我々も同様に考えておりますのでご安心下さい。
43	ノービスの参加費を無料にするとキャンセルも簡単にされそうなので、少しは頂いた方が良いかと思います。	参考にさせて頂きます。大会の運営上、ノービスのエントリーフィーについても完全なルール化は難しいと考えていますが、公認大会自体の位置付けを明確にし、エントリーフィーに見合った大会にすることが大切だと思っています。
	内容や、要素を考え直す時期に来ていると思う。ジャッジパネルに関しては、出来るだけ、現状を理解している人を優先すべきだと思う。もう一度、スポーツカイトを全国的に活気ずける為に、大会のあり方を考えるべきだと思う。	適性要員でのジャッジパネルの選出については、何かのルールを制定する必要があると考えています。現状は格下のクラスの者が上位クラスのジャッジを行ったり、個人フライヤーがチーム競技のジャッジを行う等、色々な問題点があると考えています。
	いたことがあります。今までジャッジ経験のないものに3人ジャッジで入らせるというのはおかしいのではないでしょうか?	競技の得点を付ける者として、ジャッジ経験は重要だと考えています。これまでそういった人選のあったことは非常に残念であり、カイト人口や競技会の減少の要因になっていると思われます。今後はシャドージャッジ制度を確立し、ジャッジを体験できるようなシステムを作っていきたいと思います。
45	わかりやすく、明確に納得できる基準をつくってほしい。直進	これは誤解があるのかもしれません。上級者も決して現状の採 点基準には満足していません。採点の基準としては規定演技、フ リースタイル、バレエ競技とそれぞれ分類した考え方が必要だと 思っています。

4-5 現行制度の問題点の整理(6月)

皆様に協力して頂いたアンケート結果及び競技委員会メンバーの意見を基に現行制度の問題点を整理した。整理した内容は以下の通り。

(1)競技ポイント制度について

ポイント制度の適切化

- ・現行のポイント制度はノービス、インターミディエイトとエクスペリエンス、マスターとでポイント制度が 異なっている。
- ・エクスペリエンス以上で適用されている「参加人数による勝ち点方式」の場合、大会の参加規模がポイント に反映されるメリットはあるが、演技内容、参加者のレベルまでがポイントに反映されない。

(2)年間ランキング制度

年間ランキングについて

- ・現在の年間ランキングは、1 年間の総獲得ポイントを基に合計点でランキングが決まっている。ある意味、 大会に多く参加した程、ランキングが高くなる。
- ・大会参加が多いことはカイト普及への貢献に繋がる一方、
 - 「多くの大会に参加してポイントを獲得した=強いのは誰か」
 - に繋がるとは言い切れない点もある。

中間発表の必要性

- ・現在、年間ランキングの結果はシーズン最後で終わらないと分からない。
- ・ポイント制度が「勝ち点方式」に移行し、さらに途中経過を知りたいと望む声もある。
- ・以前はAJSKA通信で途中大会結果が配布されていたが、現在は年1回の発行であり、AJSKA通信の充実 を望む声もある。

(3)クラス分け制度

昇格基準について

- ・ノービスとインターミディエイトとエクスペリエンス以上で昇格基準が異なり、複雑な印象を与えている。
- ・現在は、インターミディエイトに一度なると、それ以上降格しないルールであるが、暫く競技から離れたフライヤーの中には、またノービスから参加したいなどの声もある。

(4)国際大会優先権

優先権の取決めについて

- ・現在、国際大会の正式通知を受けた月から遡って、1 年間のポイントの多い者から優先権が与えられるが、 昨年のケースでは、非公式アナウンスと正式通知のタイミングがずれた為、その時期に予定された大会をポ イント対象にするかどうかで議論を呼んだ。
- ・優先権の基準が、国際大会の開催都度、見直され、分かりにくい。

(5)公認大会、ジャパンカップ基準

公認大会と非公認大会について

- ・現在、AJSKA として支援しているのは公認大会のみであるが、非公認大会についてもノービスを対象に AJSKAで支援するのは出来ないかとの意見がある。
- ・現在の大会は会員でも非会員でも参加出来る事が底辺を広げる一方、AJSKA 会員になると何のメリットがあるか疑問に感じる。
- ・各大会の開催時期が、ある時期に集中したり、発散したりで、大会時期は定期的に開催されていない。
- ・現在の競技人口と比較して、大会数が適正かどうかの疑問である。

<u>カテゴリーにつ</u>いて

- ・以前あったイノベーティブなど、競技志向以外のカテゴリーがなくなっている。
- ・現在の競技カテゴリーとは別に初心者でも参加しやすいカテゴリーの要望がある。(ノービス以上)

ジャパンカップについて

・現在のジャパンカップは、他の大会よりもポイントが1.5倍で加算される魅力はあるが、以前のジャパンカップの様にポイント高いフライヤーが優先され、カイトの日本一を決める大会としての格付けを望む声も上がっている。

(6) ジャッジングについて

競技ルールついて

- ・大会に参加者の競技ルールに関する理解が乏しい。
- ・ルールブックをどこまで競技者が理解しているか不明(ジャッジを含めて)。

ジャッジング

- ・現在、ジャッジのレベルが低下しているのでは?との意見がある。(マナーを含めて)
- ・以前行っていたジャッジ講習会などの開催を望む声がある。
- ・大会の結果は、最終結果しか分からず、スコア全てを見たいとの要望もある。
- ・ジャッジ結果として、ジャッジ名の公開した方が良いとの意見がある。
- ・最近のトリックなどについて難度設定を行う必要はないか。
- ・ジャッジ者の取決めは、大会運営者に任されているが、AJSKAとしてガイドラインを設ける必要がないか。
- ・ラインジャッジの教育が必要との意見がある。

5. 今後の課題

6月までの活動を振り返り、今後の課題をまとめます。

5 - 1 競技ポイント制度の見直しについて

6月までの活動スケジュールの中で、残り課題として「競技ポイント制度の見直し」の検討を行っている。現状の進捗で行くと、6月中に最終的な方向性が確定するが、中間報告書としては割愛する。方向性の結果については、6月度議事録にて報告する。

5-2 各制度の最終検討

今月より競技ポイント制度から各制度の見直しを開始し、予定は毎月、一つの制度を見直す予定でいる。一方、各制度は、一つ一つ独立した制度でなく、他の制度と密接な関係がある為、10 月までに各制度の方向性を決定した後、再度、全体の制度の整合性を検証していく。それに伴い、2002 年度の競技制度の最終確定は、11 月を目処に決定する方針とする。

5-3 ジャッジングに関する課題

今回、会員の皆様からのアンケートを集約すると、競技制度以外に実際の大会におけるジャッジに関する意見、要望が多い。ジャッジングに関する制度は当初の活動対象であるが、競技委員会にての検討課題として対応していく。具体的な活動スケジュールについては、追って検討する。

<u>6 . 役員会への依頼事項</u>

競技委員会を 3 月より発足し、まだ 4 ヶ月程しか経過しておりませんが、現在の活動進捗状況ならびに当初想定していなかった問題などが少しずつ明らかになってきました。付きましては競技委員会の活動内容に対し、 役員会でも協力して頂きたい事を依頼致します。

6 - 1 活動方針外の検討内容について

2001年度競技委員会は前述した「2 活動方針」に基づき活動を進める方針でおります。検討対象範囲として競技に関する制度の見直しを中心に行う予定です。しかし活動4ヶ月間の間に

- ・チーム規定に関する和訳の正否検討
- ・バレー競技における規定時間超過の場合のペナルティについて

などについても随時問い合わせ及び検討内容として議論されました。本議論は本来 IRBC (国際ルールブック委員会)が行うべき内容かと思います。競技(国際)ルールについての検討は 2001 年度競技委員会の活動内容から外れますので、もし出来る事ならば本年度の競技委員会の活動範囲を理解して頂き、活動外の内容については役員会もしくはその他の適切な委員会へご指示して頂ける事を望みます。

6 - 2 アンケートの協力依頼について

アンケートを実施し2ヶ月が経過しますが、予想以上に関心が薄いとの認識でおります。同時に役員会の皆様にもアンケートに協力して頂きたいと考えております。もし役員会の皆様の中でアンケートに協力していない方がいらっしゃいましたら、早急にアンケートにご協力して頂きたいと思います。

6-3 会員の皆様の要望対応について

「4-4 アンケート結果中間報告 (3)ご意見に対する回答」において、一部、競技委員会の活動対象外についても幾つかの要望が寄せられております。(「競技委員の回答して AJSKA へ提案します」と回答させて頂いている部分です)これらの要望については是非、役員会内で課題対象として検討して頂ければと思います。

6 - 4 AJSKA 役員会の役員人事の早急実施について

2001 年度会長交代以後、AJSKA 役員会 BBS を見る限り、役員会での組織的な主だった活動が見受けられない状況との認識でおります。 5 月のアンケート告知に関してパスワード情報の BBS 書き込み可否についてもなかなか回答が得られない状況でおりました。役員会の一部の皆様が一生懸命 AJSKA を活発にしていこうと推進している事も理解しておりますが、出来れば組織的に活動を推進して頂きたく思います。その第一歩として 2001年度の各役員の人事(誰が何を行うか)を明確にして頂きたいと思います。

以上